



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

会員数83名

今週のお祝い

夫人誕生祝: 9日 戸田忍君

12日 杉原弘一郎君、大場英之君

25日 高橋孝之君 26日 小土井秀明君

27日 長谷川進君 30日 松浦啓介君

会長挨拶

皆様今日は。前回の例会では公務で失礼いたしました。前回の卓話を井上万吉男先輩のシベリアでの貴重なお話が有りました。65年も経つとこういった話も風化していきます。次の世代に戦争の体験を語り続けなければならないと思います。

先日、東北の大震災の視察に行ってきました。町の3分の2が津波でさらわれた町、仙台から約1時間半、途中で線路が無くなりその後はJRバスで行かなければならぬ、人口1万人の女川町に行き参りました。現状をくまなく見て参りました。まさに悲惨と云う状況でした。

倒れるわけの無いコンクリートの2階建ての警察の建物が真横になったままでした。意図的にそのままになっているのかどうかは分かりませんがその他は殆ど整備されておりました。整備された瓦礫はどこに行ったのか? 女川市には公有地がなく、瓦礫の山が3メートルの高さで私有地のニッスイの工場跡地に積み残っていました。町だけで処理をするには115年もかかる量の山です。現在女川町の可燃物は総て東京都が引き受けているそうです。泥を排除し鉄を磁石で取った後手作業で分別しています。瓦礫の80%が木屑で残り15%がプラスチック、5%が紙屑だそうです。その過程を30分ごとに放射能の測定結果が公表されています。

米子市も石巻市の瓦礫の処理を受け入れる方針ですが、燃えカスの最終処理の問題に結論が出ていません。もう一つの問題が、米子は遠距離で運搬に難点があります。時間ですのでこの辺で終わります。

幹事報告

1. 6月ロータリーレート1ドル80円

2. 6/2青少年交換派遣学生壮行会ご挨拶のお願い

3. 米子がいな祭事務局開き ご厚志のお礼状

4. 例会変更のお知らせ

米子中央RC5/31(木)夜間例会 ビジター受付あり

鳥取中央 6/4(月)夜間例会 "

米子 6/1(金)休会(定款第6条) ビジター受付なし

倉吉 6/5(火)休会 " "

今後の予定

6/6 新年度クラブ協議会

6/10 中海一斉清掃 (錦海町湖岸)

6/27 夜間例会

(ホテルサンルート米子)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to embrace humanity

こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

《プログラム》

「中海テレビの自主制作こぼれ話し」

中海テレビ放送 パルディア番組担当 三浦健吾氏



皆さん今日は。中海テレビから来ました三浦健吾と申します。中海テレビの自主制作こぼれ話しと題してTV番組を作る時の裏話と中海テレビがケーブルTVとして地域情報の取り組み等を駆け足になりますがご紹介致します。本日は直属の上司の高橋が残念ながら出張で東京に行っております。最初に「出会いふれ合いそぞろ歩き」と云う30分番組を紹介いたします。この番組は鳥取県西部の地域の人々とふれ合いながら文化、歴史、風習や各地の取り組みを紹介していく自主制作番組です。

この番組の目的は①地域の再発見。②地域の記録。これを通して視聴者に地域に誇りを感じて貰うきっかけにしたい事です。平成13年にパルディアのコーナーでスタートし110地区以上をしています。

今日は「日光地区の紹介DVD」伯耆町日光地区の紹介番組の裏側を紹介いたします。この番組のロケは2日間で行っています。カメラ兼ディレクターと音声さんと私の3人体制で行っています。ディレクターが事前に下調べのリハーサルを行い、大まかな構成をたてて7割は予め決めておき、残り3割はアポ無しで行っております。私は取材者とは初対面なので会話が新鮮です。ちなみに第2日曜日から「出会いふれ合いそぞろ歩き」を放送しています。

続いて中海テレビは49,500世帯で加入率としては52%がご加入頂いています。我が社はテレビ事業とインターネット接続、ケーブルプラス電話の三つのサービスを行っています。テレビ事業としては、自主制作番組として地域情報をお知らせしている番組を6チャンネルを持っています。勿論その他に民放、NHK、BS、CSを併せて90chです。

我が社の自主制作番組6チャンネルを紹介致します。パルディアと云う番組を中心にトライアスロン生中継やがいな祭りを放送するイベントチャンネル121ch、ニュース専門チャンネル111chは8名のキャスターが担当しています、この二つが基本柱で作成しています。市民の皆さんに1chを自由に解放しているパブリック・アクセス・チャンネルC331chは年間150本の作品投稿があります。生活情報チャンネルC333chは地域の情報を文字でお知らせしたり、その他火災情報防災無線の緊急情報を放送しています。

各地域専門チャンネル113chはその町村だけで流れている地域に特化したchです。県民チャンネルC332chは主に県議会中継を生中継で流しています。

自主制作番組の基本理念は、放送を見た視聴者がそれに感化されて実際に行動をして町が良くなる、まちが変わっていく事を目的としています。

実際に町が変わって来たプロジェクトを紹介致します。中海再生プロジェクトを10年で泳げる中海を目指し「中海物語」を毎月作って中海TVが仲介役になって「中海クルージング」「中海アダプトプログラム」「中海未来マップ」等が動き始めています。この結果として泳げる様になった事で、中海オープンウォータースイム2011の開催、今年は6月24日日曜日に9:30分に開催致します。

最後に中海テレビ放送センタービルの活用案中心市街地にある情報発信する拠点として活用していきます。情報や知識が集まる拠点で地域の皆さんと手を繋いで行きたいと考えています。皆さんの広告も受付ています。ご清聴有り難うございました。

5/27 「買・食・観」婦人の集い in 大阪



秦野君、川端君、
北沢君、小椋君、
今出様、岩崎(清)様
古杉様、中村様、西上様、
尾沢様、佐田山様

船田君、今出君、関君